

おしゃべりをなくし気持ちを考えで行動する

成長・貢献・感謝

始業式代表あいさつ

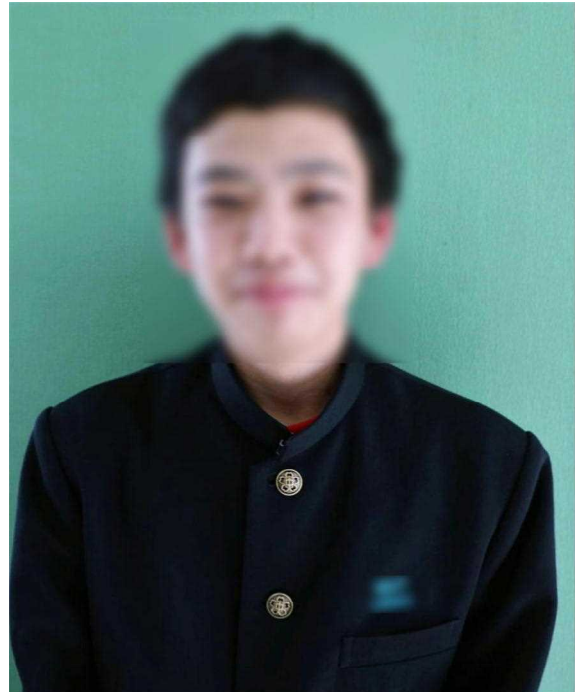


一年代表 K・Rさん

私が三学期に頑張りたいことは、授業態度と言葉づかいを改善することです。
 授業態度では、授業に関係のないお喋りをなくし、一年生全体が注意を受けることをなくしていきたいです。
 言葉づかいでは、相手の気持ちを考えで行動できるようにし、皆が過ごしやすいと思えるような環境にしていきたいです。
 三学期は、一年生にとって二年に進級する準備の時間だと思うので、新年度に一年生が入学してきたときに、お手本となるようにしたいです。これまでの自分をしっかり振り返り、レベルの高い二年生をめざしていきたい。

羽地中学校
 学校だより160号
 R2. 1. 7

全力で取り組み、全力で楽しみ、最高の卒業式にする



二年代表 U・Rさん

僕たち二年生の良い所は、どんな時でも元気があり、行事ごととなると全力で取り組み、目一杯楽しむところ、どんな困難にも二年生全員で立ち向かっていくところ、そして、互いに切磋琢磨して高め合えるところです。
 この良いところを更に伸ばすために、日頃の生活から改めていく必要があると思います。
 まずは、授業態度です。
 どのクラスも授業中のお喋りや僕を含め居眠りが多く、授業に集中していない人が多くいるので、これを改善することで今より更に切磋琢磨して、もっと高め合うことができると思います。
 次に行事への取り組み方です。全力で楽しすぎて、途中からふざけがちになってしまっていると思います。真面目にするところでは、真面目に取り組み、楽しむところは、とことん楽しんでいきましょう。
 三学期はどの先生からも「二年生、すごいやん」と思われるくらい、授業態度を良くし、どんなことでも全力で取り組みたいです。三学期の大きな行事である「卒業式」を準備の時から二年生の団結力を見せて三年生の先輩方の思い出に残る、最高の卒業式にしていきたいです。

苦手な教科は、分からないから苦手だ。
 苦手だと勉強もおっくうになるから余計に分からなくなる。かくして、苦手な教科は、ますます苦手になり見たくもないくらい嫌いになる。ついては教科の先生も嫌いになる。
 しかし、単元が変わると今まで分からなかったことが、急に脳内で一本に結びついて分かるようになり、好きな単元になる可能性がある。ひとつ分かるようになれば、それを頼りに他も勉強してみる。嫌いな中にもスキありだ。

嫌いの中にもスキあり

